

石破茂首相は29日、太平洋戦争末期に激戦地となつた硫黄島(東京都小笠原村)を訪問した。戦没者の日米合同慰靈式に出席し「われわれが享受している平和や繁栄は戦没者の尊い犠牲と、戦後80年間の人々のたゆみない努力の上に築かれ



石破茂首相は29日、太平洋戦争末期に激戦地となつた硫黄島(東京都小笠原村)を訪問した。戦没者の日米合同慰靈式に出席し「われわれが享受している平和や繁栄は戦没者の尊い犠牲と、戦後80年間の人々のたゆみない努力の上に築かれ

ていることを忘れてはならない」と強調。地域の繁栄に向けて日米同盟をさらなる高みに引き上げると決意を示した。中谷元・防衛相、ヘグセス米国防長官も参列。首相と米国防長官の合同慰靈式参加は、いずれも初めて。



日米合同慰靈式で献花する石破首相
(中央) ら=29日午後、東京都小笠原村の硫黄島 (代表撮影)

石破茂首相は29日、太平洋戦争末期に激戦地となつた硫黄島(東京都小笠原村)を訪問した。戦没者の日米合同慰靈式に出席し「われわれが享受している平和や繁栄は戦没者の尊い犠牲と、戦後80年間の人々のたゆみない努力の上に築かれ

合いながら、悲痛な戦争体験を、世代を超えて語り継

ぐ努力を続ける」と語った。ヘグセス氏は、日米が現れおり「昨日の敵は今日の友であることを示している」と言及。日米同盟について「インド太平洋地域の自由や繁栄、安全保障の礎石であり続ける」と表明した。首相はその後、日本側遺

首相、硫黄島で慰靈

米国防長官と式典初出席

むずかしい漢字と
ことば

石破茂(いし・ば・しげる)

硫黄島(い・おう・じま)

小笠原(お・がさ・わら)

戦没者(せん・ぼつ・しゃ)

慰靈(い・れい)

享受(きょう・じゅ)=受け取って味わい楽しむこと。

繁栄(はん・えい)

犠牲(ぎ・せい)

追悼(つい・とう)=なくなつた人をしのび、その死をなげき悲しむこと。

信頼(しん・らい)

指摘(し・てき)

惨禍(さん・か)=いたましいわざわい。

縁(く)り返(かえ)す

真摯(しん・し)=まじめで、ひたむきなさま。

超(こ)えて

語(かた)り継(つ)ぐ

言及(げん・きゅう)=あることからにふれること。

礎石(そ・せき)=ものごとの土台。

主催(しゅ・さい)

要衝(よう・しょう)=交通・軍事・通商の上で、大切な地点。

摺鉢山(すり・ばち・やま)

眠(ねむ)って

帰還(き・かん)

徹底抗戦(てつ・てい・こ・う・せん)

【問1】硫黄島はどの戦争のいつごろ、激戦地となつたのでしょうか。

【問2】ヘグセス米国防長官は、日米が現在強固な同盟関係を結んでおり、何であることを示していると言及したのでしょうか。14字で抜き出しましょう。

【問3】厚生労働省によると、日本兵の遺骨未収容は、何柱あるのでしょうか。

(※遺骨は「●柱」と数えます)

【問4】硫黄島には何年何月に米軍が上陸したのでしょうか。

【調べてみよう】硫黄島での戦争について、調べよう。